

2009年6月24日

大分市長 釘宮 磐 殿

国保を考える大分市民の会  
代表 佐藤秀樹

## 国保制度の改善を求める要望書

市民の命と健康を守るために、日々ご尽力いただいていることに、敬意を表します。

市民生活は、自公麻生内閣のもと、税制や社会保障の連続改悪など、また昨年来からの景気悪化は、市民の暮らしを窮地に追いやっています。

なかでも、高い国保税は、負担能力の限界をこえるものになっており、支払いに四苦八苦しており、業者をはじめ市民の切実な声が沸騰しています。

また国保税滞納世帯の増加、滞納による保険証の未交付は、国保世帯の受診を抑制し、命と健康に重大な影響を及ぼしています。また新型インフルエンザ対策からも「保険証とりあげ」は、ただちにやめるべきです。

市政が国の悪政から市民の暮らしを守る防波堤となり、命と健康を守れる国保制度に改善していただくよう、下記事項について、強く要望いたします。

### 記

- 1、負担能力の限界を超えている高い国保税を値下げするための措置をおこなうこと。①国に国庫負担の増額を要求すること。②一般会計からのくり入れを増やすこと。
- 2、受診抑制となっている短期保険証・資格証明書の発行を中止すること。当面、高校生までの未交付をなくすこと。
- 3、生活困窮減免は、適用基準を引き上げるとともに、利用しやすいようにするために、申請書類などの手続きを簡素化すること。
- 4、一部負担金の免除制度については、もっと利用しやすい制度に改善すること。
- 5、民間医療機関での特定検診費用を助成すること。
- 6、国保加入時、国保税を3年間遡っての徴収は改めること。

以上